

平成 22 年度新宿区外部評価委員会第 1 部会
第 8 回会議要旨

＜出席者＞

外部評価委員（5 名）

卯月部会長（会長）、大塚委員、川俣委員、須貝委員、鍋島委員
事務局（3 名）

木内行政管理課長、大竹主査、担当 1 名

説明者

特命プロジェクト推進課長

歌舞伎町ルネッサンス推進協議会事務局

＜開催日＞

平成 22 年 8 月 10 日（火）

＜場所＞

区役所本庁舎 6 階 第 3 委員会室他

＜開会＞

1 補助事業現地視察

歌舞伎町シネシティ、大久保公園、歌舞伎町タウン・マネジメント事務局

【部会長】

外部評価委員会第1部会を始めたいと思います。

今日は、歌舞伎町のタウン・マネージメントということで、先日1回お話をお伺いしたんですが、大変重要な事業なのでぜひ現地を視察させていただきたいということでお願いいたしました。どうぞよろしくお願いします。

それでは、最初にちょっとご説明いただけるとありがたいんですが。

【説明者】

先日補助事業の外部評価をしていただいた際に、歌舞伎町ルネッサンス推進協議会と歌舞伎町タウン・マネージメントの関係がよくわからないというお話でしたので、今回タウン・マネージメントの視察を受けていただくに当たって、まずここを1回整理させていただいた上で視察していただくかと考えております。本来、事業評価シートのヒアリングでやるとお話しただいたんですが、今回先にタウン・マネージメントの視察が入りますので、簡単に説明させていただきます。

タウン・マネージメントと推進協議会の関係がわかるような資料をご用意させていただきましたので、これに沿ってまずは先に説明をさせていただきたいと思います。

歌舞伎町ルネッサンス推進協議会は、平成17年1月27日に設立されております。設立した経緯は前回は説明したところですが、平成13年の明星第56ビルの火災をきっかけに歌舞伎町の安全・安心とにぎわいづくりというところで、多くの関係者を巻き込んで多角的な視点からまちづくりを行おうということで設立されたものでございます。

設立の目的でございますが、「犯罪インフラの除去と環境美化」、「歌舞伎町からの新たな文化の創造と発信」、それと「健全で魅力あふれるまちづくり」の総合的な対策の推進といったことを設立目的に掲げていまして、これらを実行した上で歌舞伎町をだれもが安心して楽しむことのできるまちに再生する、こういった取り組みをしていこうということが歌舞伎町ルネッサンスでございます。

有識者、地元・事業者等、それと関係行政機関と、この3者の協働によりまして今申し上げました設立目的を実践していこうということで設立されております。

歌舞伎町ルネッサンスの目的を推進するために3つのプロジェクトを掲げております。クリーン作戦プロジェクト、地域活性化プロジェクト、そしてまちづくりプロジェクトといった形になります。

クリーン作戦プロジェクトは、環境美化・安全安心まちづくりの推進ということでクリーン作戦というものを実行してございます。具体的に申し上げますと、路上清掃ですとか不法風俗店の対策、雑居ビル対策などを行っておりまして、犯罪に関する取り組みと環境美化等を進めているということです。

地域活性化プロジェクトというのは、にぎわいの場づくりということで、今日ごらんになっていただきますシネシティ広場ですとか大久保公園など公共空間を活用してイベントを実行してにぎわいをつくっていく、文化の発信をしていくということになります。

まちづくりプロジェクトはどちらかといいますとハードのまちづくりでございまして、歌舞伎町まちづくり誘導方針の推進、そういったものを実行していくプロジェクトです。

この3つのプロジェクトを具体的に推進していくというのが歌舞伎町タウン・マネジメントです平成20年4月に設立されております。

これらのプロジェクトを推進するために、タウン・マネジメントの下に部会がございます。

タウン・マネジメントは、ルネッサンス推進協議会の構成団体から構成されております。そして、このそれぞれの部会がそれぞれ情報発信事業、地域活性化事業、安全・安心事業、まちづくり事業と、ルネッサンスのプロジェクトを推進していきますので、具体的にはちょっとダブった内容のものが書いてございますが、こういったものを通して歌舞伎町ルネッサンスのそれぞれのプロジェクトを推進している団体であるということで位置づけられていると言えます。

【部会長】

今の質問はありますか。

【委員】

歌舞伎町のイメージに対して、今はこうなっているから、こういうところがおかしくなっ

いるから直そうとか、そういうのが何もないじゃないですか。よかった歌舞伎町の時代はどのぐらいで、どういうふうが悪くなって、今現在これだからという、そういう何かがないと、何かこれはまちのひとりよがりしか感じないわけです。それと、もう一つは、結局構成メンバーが同じだったら、歌舞伎町タウン・マネージメントも歌舞伎町ルネッサンス推進協議会も同じなんでしょう。組織は分ける必要ないのでは。

【説明者】

有識者のほうは、タウン・マネージメントに一人も入っていないんです。

【委員】

そうすると、地元・事業者と関係行政機関だけがタウン・マネージメントになっているということですか。

【説明者】

はい、手足になっているんですね。実行部隊とも言いますね。

【委員】

そんなに歌舞伎町っていうのはひどいのかということの説明がないと、この事業にお金をかける意味が、普通の市民じゃわからない。いつごろの時代から比べてどのぐらいに悪化したんだと、だからどのぐらいに戻そうとかというのが何にもない。そこら辺の説明してくれると。

【委員】

これは17年ですよ。その前に、実は犯罪が相当増えていて、平成15年の段階で犯罪率、重要犯罪と言われているものが非常に多くなった。警視庁は犯罪率を10年前に戻しましょうという動きがあった中で、火災もあり、一体的に考えなくちゃいけないというところに来たときに初めてこういうルネッサンス推進協議会という総合的・横断的な、縦割りにやっている行政を横串に刺してやっていかないとできないというんでルネッサンス推進協議会というのが生まれたんです。

【委員】

10年前の犯罪の発生率はこうだったから、そこに持っていきましょうという目的が全然ないとおかしいんじゃないか。我々は理解できないです。

【委員】

犯罪はなぜ起きたのかというときに、暴力団がいっぱい出ているんじゃないかとか、暴力団がなぜ入ってきたんだといえば、ただ単に警察が取り締まるだけじゃできませんから、ひょっとしたらまちの中の何かのコンセプト、考え方がおかしくなっているんじゃないかと、その結果として雑居ビルが増えて、火事になったときに44人も亡くなったんじゃないか。

それをトータル的に物を考えていかななくちゃいけないからという話で、数字はまた別に出ると思いますよ。

【委員】

当時区長が防弾チョッキを着て、区がいろんなセクション全部横断的に、この辺全部回ったんですよ。それで横断的な組織ができて、これをそのまま終わらせちゃうんだだめだからって

いって、確か推進の規定ができたんですよ。

【部会長】

これは整理をして我々も理解しないと評価できないので、資料をお願いします。たくさん目的とか目標があり過ぎて、だから逆にお金も膨らんでしまって、本当に一つ一つの目標が必ずしも達成されているのかというのが見えにくくなっているのです、その辺は少し明確にしないと。

【説明者】

ここに至るまでの経緯はつけさせていただいて、また改めて、次回のヒアリングで説明します。

【部会長】

では、視察のほう、よろしくをお願いします。

- ・歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の構成
- ・「歌舞伎町ルネッサンスの推進体制」について
- ・クリーン作戦プロジェクト、地域活性化プロジェクト、まちづくりプロジェクトについて
- ・歌舞伎町シネシティ広場イベントスペースについて
- ・大久保公園シアターパークについて

<閉会>